

おーぶん

社会福祉法人さざんか会法人広報誌『おーぶん第 100 号 2024 年度末』

発行:さざんか会法人本部/船橋市行田 2-8-1/☎047-404-1135

編集:おーぶん編集委員会/けいよう/船橋市二和西 5-10-1/☎047-411-8177

「文明の利器」という言葉があります。ネットで調べると「物質的文明の発達によつてもたらされる便利な器具、機械」とあります。確かに私たちは、時代を追う毎に発明や発見などを通して、より豊かにそして便利に快適に、と飽くなき欲望を抱いて文明を進化させてきました。

私の例えで恐縮ですが、65 年程以前の小学生であつた頃、「三種の神器」という言葉があ

りました。これは家電製品である「テレビ・洗濯機・冷蔵庫」を指したものでした。この頃、三種の神器がすべてそろつた家はそうはありません。



社会福祉法人さざんか会 理事長 宮代 隆治

『便利の中の落とし穴』

おーぶん 100 号目次

P 1 「便利の落とし穴」
さざんか会 理事長 宮代 隆治

P 3 寄稿『卒園にあたって』
・さざんかキッズ保護者
 阿世保 美貴 様
・とらのこキッズ保護者
 安田 未緒 様

P 5 各事業所冬～春だより
・けいよう
・ゆたか福祉苑
・カメリアハウス
・のまのまホームズ
・のまる
・とらのこキッズ
・さざんかキッズ

P 9 北総の里だより
・北総育成園
・グループホーム野の花

P 12 後援会だより

さて、現代の「三種の神器」は何になるのでしょうか。さしつれ、「パソコン・スマホ・4K テレビ」辺りでしょうか。異を唱える人

もありましょが、ここは独断で話を続けます。パソコンやスマートホンの出現と普及は、人と人の関係性に劇的変化をもたらしましたし、暮らしそのものにとても大きな影響を及ぼしました。居ながらにして、世界中のひとの意思の疎通が叶います。目にしたい光景や未知の事項について調べ、知ることができます。どこに居ても、何時であろうとも、今何が起きているか国内外に関わらず、瞬時に情報を入手することができます。映画を観たり、音楽を聴いたり、漫画を読んだり、好きなことをどこでもいつでも楽しむことができます。結果、遙かに電車の中でも、座席や吊革に座りわらす乗客のほぼ全員がスマートホンを見ている、という光景があります。百科事典であり、図書館であり、博物館であり、通信手段であり、その他もろもろ。とにかく便利なものです。ではあります、この便利な機器も使い勝手により、怖い武器と化します。



自分の心情をネット上に吐露すること自体は問題ありませんが、特定の人物について非難するばかりか、度を越えた誹謗や中傷などを浴びせかける、そんな言辞が溢れています。その言辞が本当のことなのか、あるいは根拠のない虚言なのか、真偽のほどは曖昧に、とにかく口撃、攻撃、雨あられのことくこれでもか、罵り倒す勢いです。



ターゲットにされた人はびっくり仰天、「なぜ?」。不安や動搖、恐怖におびえます。不眠が続き、情緒をかき乱されてしまします。挙句、自死してしまった悲惨な事件もありました。これは極端な事例かも知れませんが、とにかく人心を傷付け、不安をあおり惑わせ、扇動してしまっておりました。その結果が、このような情

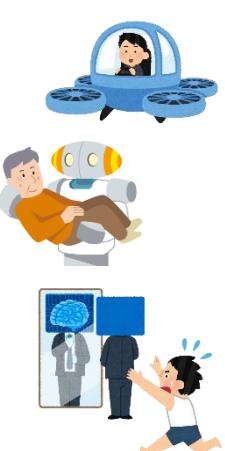
報に影響を受けてしまったのは、と思われる次第です。自分の主義主張を広く世間に知らしめる、言論の自由は憲法にも保障された、大事な権利です。でも、相手の人格を嘘偽りまみれの誹謗や中傷で塗り固め、そして貶める目的で世間に公言するなら、それは果たして言論の自由に値するものでしょうか?

嘘偽りが喧伝され、拳銃取り返しのつかない悲惨な事件がありました。関東大震災の起きたとき、「朝鮮人が井戸に毒を入れた」、「暴徒となり襲つてくる」とデマが流れ、市民は自警団と称して竹やりなどで武装して、彼らを捕縛し惨殺しました。東京や神奈川、千葉は市川や八千代、そして船橋でも起きたことが記録されています。また、馬込霊園には殺された人々を慰靈する碑が建てられています。この時はマスクも、大震災に恐れおののく人心を煽ったのです。昔のこと…では済まないと思います。社会的に、或いは発言力の弱い立場の人々に攻撃が仕掛けられたとき、オオカミに睨まれた子羊状態になります。

文明の進化とともに、私たちの知性なり精神なりが深化、進歩すればよいのですが私自身も含め、どうもそうはなってないようです。いつ、どのような状況下であっても冷静沈着に判断し、真偽の検証を怠ることなく、少なくともデマや迷いごとに惑わされることのない存在であります。



生活が便利になり、そこから心身に余裕が生まれ、より充実した時間が送れるならば、それは望むところですが、神器たる機器を使用するに、その使い勝手を誤ると、とんでもないことになることも肝に銘じましょ。世相に格差や分断が蔓延する社会であれば、尚更のことです。



【特集】 一〇の春、やさんかキッズ
およびどりのこキッズの卒園を迎
えられた保護者様に「」寄稿いただ
きました。

『やれやれ』と叫んでいた

我が家の中の長男・遥太(はるた)は、こだわりが強く、多動・衝動の傾向からマイペースで活発な性格です。赤ちゃんの頃は、よく

食べよべ寝て、2歳年上のお姉ちゃんの遊び相手をしてる母の傍で、一人で「ココロ笑い」、一人でこいつと眠り・・そんな当たり前の成長を見て、この先、一緒に園に通い、一緒にランドセルを背負って学校に行く姉弟の姿を思って描いていました。

しかし、1歳、2歳を迎えても発語がない、名前を呼んでも反応しない、人への興味が感じられないなど当たり前に望んでいた成長が見られません。時が経つにつれ、ゆっくりといつかは出来るようになるだらうと蓋をしていました不安が大きくなりました。そんな頃、市のこども発達相談センターの心理士さんに2歳の息子の成

長の遅れについて相談しました。同時に姉の通う幼稚園の探し保育に通い始める頃でもありました。園では、教室に入るのを拒む、先生の指示が入らないなど心配していた通りに・半年程通うものの、周りのお友達が遊びやお仕度を覚えていく中で、園に居ることすら精一杯な息子を見て、母の気持ちは沈む一方でした。

そんな状況を少しでも変えたく、心理士さんに相談したところたんぽぽ親子教室へ通うことになりました。そこは初めて見た療育の場でした。子ども一人ひとりの特性に配慮をし、親子の関わり方をサポートして頂き、息子も日々の積み重ねで1つ2つとできる事が増えていきました。

3歳の頃、発達検査で知的に大きな遅れがあることがわかりました。覚悟はしていましたが、それは息子の障がいに向き合う辛い現実でした。この先どう育ついくのだろう、言葉を話せるようになるのだろうか、この子を迎えてくれる場所はあるのだろうか・・成長の一歩が何倍もかかる息子を見て、この先も毎日を安心

して過(じ)せぬ環境で過(じ)してほ
しいと強く思つるようになりました
た。

そんな中、運良く年少の6歳か
ら、わざわざキッズに通えること
になりました。しかし入園すると
早々に、園で出されるお茶を飲ま
ない、給食に手を付けない・・母
の予想していなかつた姿を目に
します。何をしたら良いかわから
ない家族でしたが、先生方は息子
と一緒に歩みを進めてくださり都
度様子を伝えていただきました。

入園して半年経った頃、クラス
見学の機会があり広いお部屋で
サークルの活動をしていました
。そこでは、息子が自分の番を
終えると、両手を広げて満面の笑
みで先生とお友達のところへ駆
け寄つていぐ、そんな姿を見て嬉
しくなりました。その後、年中、
年長と周りが見えていきわかる
ことも増える一方、気持ちの強さ
から過(じ)しにくい場面も増え
いました。そんな大変な時でも
わざわざキッズの先生方は根気
強く、たくさんの愛情でやさしく
包み込み、息子の笑顔を引き出し
てくださいました。

さざんかキッズ保護者

阿世保
美貴



先生、お友達から「せのわやん」「あせぼくん」と呼んでおり、「の場所が大好きで」と。そこには

さぞんかキッズで過ごした3年間、遥太の心を大切に育てていただき、大変感謝しております。

「かけがえのない3年間」



我が家の中の2人目の子である娘、彩芭（いろは）は2018年4月に生まれました。寝返り、はいはい、歩き始めと、兄と比べても1歳頃までは順調に育っていると思っていました。しかし1歳半には出ていた喃語が出なくなり、その後も言葉は出ず、2

歳になる頃には難治性のてんかん発作が見つかりました。その後右脳の一部が機能していない事がわかり、そのせいから娘の知的障害は重く、歩行にもらつた方が見られました。

2歳になると同時に療育に通い始めました。

先生や先輩ママさんから、どちらのこキッズの良い評判を聞いていたので、いざなはうちの子も入園できたらいいなーと思うようになりました。しかし入園できる年齢に近づいても、歩くことはできましたが、かなり不安定で、常に誰かが横で見ていなければならぬ状態でした。そのため、入園を受け入れてもらえるのだろうかと、とても不安な気持ちでした。その後話だけでも聞いてもらおうと電話で問い合わせをし、その年の秋に翌年4月からの入園申し込みをしましたが、結果は待機となりました。しかし、それから数か月後

に園から電話があり、他の年少さん数名と共に、5月から入園できることになりました。

入園後も、先生方皆さんが細かく気を配つて娘を見てくれました。いつも園に様子を見に来てください、何かあれば連絡くださいと言つていただき、実際に何かあればすぐに電話で知らせてくれたので、本当に心強く、安心して預ける事ができました。

一つの事ができるようになるのに、とても時間がかかる娘でしたが、手洗いやズボンを引っ張るなど、園で取り組んでいることを急に家で披露してくれるとには、家族みんなです「いい!すいー」と大喜びしました。

娘の障害を知った時、この娘は友達と笑い合うことは一生できないのかもしないと思いい、その事が本当に辛く、毎日涙がとまりませんでした。しかし、年長になる頃にはお友達と笑う姿を見せてくれたり、お友達に娘からハグをしていると先生が教えてくださつたりと、娘の成長にとても感動しました。言葉

が話せず、気持ちも読み取りづらい娘ですが黄色い園バスを見るといわんばかりにバスに走り寄り、私を振り返らずに一日散にバスに乗る姿は、園を楽しんでいる何よりの証拠でした。そんな些細なことは、それは私はとても嬉しく、自慢のHPソーデとなりました。

どちらのこキッズに通つようになり、毎日バスに乗り、みんなと一緒に給食を食べ、元気にして遊んで、普通の幼稚園生と同じような生活ができたことは、重い障害を持った娘の未来に、色々なことをあきらめかけてしまつて、いた私にとって本当に夢のようでもありました。

どちらのこキッズで、娘はたくさん愛を受け、たくさん学び、たくさん笑い、かけがえのない日々を過ごす事ができました。娘と仲良くしてくれたお友達、毎日笑顔で迎えてくださった先生、関わってくれた全ての方々に感謝しています。3年間本当に本当にありがとうございました。



けいよう

けいようではカラオケ機器をレンタルして、それぞれの班が活動で活用しています。カラオケ機に搭載されている体操コンテストを使い、身体を動かしたり、本人映像を見て真似して歌つて踊つたり各班それぞれ楽しんでいます。



ゆたか福祉苑

本年度最後のおーーんとなりました。今回は各班で行われたイベントの紹介をします。12月には清掃工場の工場見学に行き、ゴミが処理される様子を見学したり、2月には豆まきを行い職員が扮した鬼に、豆に見立てたフェルトボールを投げ大盛り上がりでした。ゆたか福祉苑では、今後も皆様に楽しんでいただける様なイベントを開催していきたいと思います。



カメリアハウス

○障害者記念事業○

先日、船橋イオンにて販売会がありました。ご利用者さんも1名売り子として販売に参加してもらいました。多くの方が買いに来てくださり皆さんが作った作品やパウンドケーキも沢山売れたようです。記念事業では販売だけでなく、ボッチャ体験など多くの催し物もあり遊びに行かれた方は楽しまれていたようです。



毎年ご利用者さんの健診がありますが、血圧測定や採血が苦手な方がいらっしゃいます。少しでも安心して受けられるように、看護師が絵カードを使用し、その季節が近づいてくると先輩ご利用者の協力を得ながら一緒に練習しています。

先日の健診では苦戦する場面もまだまだありましたが、練習の成果もあって安全に終えることができました☆

いろいろの方の協力を得ながら、これからも皆さんの健康管理に努めています。

健康診断

今回のホーム便りは、節分の日のホームの夕食の風景をお伝えします。



ホーム便り

お好きな恵方巻を選んでいただきました。今回の一番人気はヒレカツが入った恵方巻でした。



「ガブリっーーー！」と大きな口を開けて美味しそうに召し上がりっていました。

毎年、皆様の健康を祈っています
最近の恵方巻は定番のものからお肉の恵方巻、はたまた豪華なものであつたりと色々な種類があることを知り、驚きました。

ホームの皆様もあれがいい！これがいい！と興味津々のご様子で、それぞれ



のまる

寒い日が続いていましたが、少しづつ暖かい日も増えてきましたね。皆様、如何お過ごしでしょうか。

のまるでは2月18日(火)に『冬祭り』(旧芋煮会)を開催しましたので、その様子を紹介したいと思います。

イベントの名称が変わり、冬祭りイベントを行うのは初めてでした。冬祭りイベントでは係による出し物で、節分にちなんだ玉入れゲーム・軽食を用意しました。ゲームの玉入れでは各鬼に得点が記載されており、白線の外側から利用者様に投げ入れて頂くゲームを行いました。最高得点のコ一ットには、お菓子詰め合わせの景品が用意されており、皆さんやる氣に満ち溢れていました!素早くボールを投げ込む方や、箱へ歩いて持つていき入れる方、慎重にゆっくり入れようと手を伸ばし頑張っている姿など様々な皆様の姿が見ることがで会場は盛り上がっていました。

ゲーム終了後は軽食で「おしるし」とアイスの「雪見だいふく」が用意され、おしごとの中にも雪見だいふくを入れて笑顔で召し上がっていました。昼食はグラタン・巻物・甘酒など普段よりも豪華なメニューに、日をキラキラさせ美味しそうに召し上がっていました。食事が終った後も「おかわり」と、スタッフに伝えている方もいました。これからも、皆様が楽しめるイベント作りを行っていきたいと思います。

まだまだ、朝晩が冷え込み寒い日もありますが、体調管理に気を付けて、これから訪れる春を皆さんと一緒に迎えたいと思います。



とらのこきゅう



田中は、ポカポカと温かい日が増えたもあしたね。といのこキッズでは、いろいろな集会を行ないました！

1月は、しあまい集会です！

獅子に歯まれて元気セリモリ
パワーをもらいました。

2月は豆まき集会★

みんなで力を合わせて鬼退治
をしました！最後には、鬼さ
んから仲良しメダルをプレゼ
ントしてもらいました。



たくさんのかみと成長が見られた一年間でした！とらのこキッズのお友達、いつも元気を分けてくれてありがとうございます。新しいステージでもみんなりしく頑張ってね。



「明けましておめでとーいります」とい挨拶を子どもたちと交わし、今年もスタートした2025年的新年。1月にはお正月集会、2月には各クラスに鬼が登場し豆まきをしました!!

わざんかキッズ



お正月集会では、わざんか神社にお賽銭をしてお参りをしたり、獅子舞さんが登場し、その大きな目と口にビックリ!!恐がる子もいましたが、中には自ら歯まれに行く子もいました。



北総の里だより

北総育成園

「県外研修（茨城県）報告」

北総育成園では全職員が年に一度は外部研修に出て研鑽に努めています。今回は県外研修の報告です

支援主任 保科 智子

1月27～28日白樺施設長と共に千葉県知的障害者福祉協会

障害者支援部会施設長等研修会に参加させて頂きました。今回の見学は茨城県の2法人です。



してていました。彩りも良くて、おいしく頂きました。

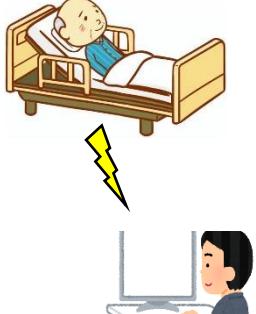
1日目は社会福祉法人コーライ村さん。先ずは昼食のお弁当を頂きました。就労継続支援B型のコーライキッキンさんで手作りされていてお弁当の包みや箸入れにはコーライファクトリー（生活介護）、コーライ保育園、コーライホーム（GH）、コーライアイ（特老）、コーライアクティー（生

いのとく）とても良い機会でした。

また、高齢になり障害者施設から特老に移つた方もいるそうですが、コーライ村がその人を長期に支えていく仕組みがありました。

そこでは特老の職員が障害特性を理解できず関わりが難しかったり、本人が新しい環境に慣れるまで時間がかかるたりとい

みんなが楽しみにしている行事になっていたとのことでした。ユーハイの家（特老）では各ベッドに空間センサーとカメラを付け、睡眠を見守れるようにして職員の見回り業務を軽減していることや、全ての施設でデジタル化にすることで情報共有をしていることは、北総とは違い驚くこともありました。



みんなが楽しみにしている行事になっていたとのことでした。職員間での情報共有が大事になると伺いました。看取りのお話では、住み慣れた施設で知っている職員や家族で安心して看取れる。病院で治療し命を長らえるよりも施設で穏やかに過ごせる。命はいつなくなるかわからないので、今を大切にしている。などとのご説明で、特老だからこそ考え方や意見だとと思いました。

北総でも高齢となり介護が必要な方が増えましたが、入所施設では限界があることを感じることがあります。特に医療が必要な方にとって同じ場所で同じ顔ぶれで生活することは本人も安心すると思いますが、今の利用者さんにとって本当に良い環境なのか？車椅子移乗や食事介助ももつと良い方法があるので

は？と思う時があります。個々の利用者さんに合わせて対応を考えていますが、今後の課題が

多くあります。私は北総の利用者さんとの関わりが楽しくて大好きです。これからも大切に安

ると、色々と教えてもらいました。施設での看取りが良い悪いはわかりませんが、具体的な体験のお話を聞けたことは勉強になりました。



生活介護事業での製品は、素敵なものアート作品もあり参考になることが多い、ぜひ取り入れてみたいと思いました。他にも音楽活動、楽器演奏や歌うこと、踊ることを楽しんでいました。発表もしてくれましたが、とても活気あるものでみんなの表情が生き生きとしていました。好きなことを活動とすることは元気の源になるのだと感じました。

グループホームもすぐ近くにあり、ユーハイキッキンで働く方が歩いて通えるようになつていました。きれいな建物で暮らしお働きに出る場があることで充実した暮らしが送られていることが伺えました。

2日目に見学した社会福祉法人茨城補成会さんは創立昭和14

年と歴史は古いが、令和4年に新築しているので、どこもセンス良くきれいでした。子供から高齢者までが過ごす多機能型福祉モールになるように創られています。就労支援事業所・生活介護、入所・発達支援センターを見学しました。「はたらくガッツ村（就労支援事業所）」は就労移行、就労継続支援B型の施設でお菓子やスイーツ作り、レストラン経営をしていました。社会で働くための実践的な訓練の場として、スイーツのレベルが高く、他の企業と同じに評価され、地域の品評会に入賞しているとのことでした。

今回の研修に参加させて頂き各施設長さんとお話しさせてもらいました。皆さんのパワーと元気と勇気を頂きました。多くのことを様々な角度から学ばせて頂きました。同時に、自分がもっともっと知識を得ていくことも必要だと気付けた機会にもなりました。

素晴らしい施設をみることで刺激になり、自分の仕事もきちんとやっていこうと改めて考えることができました。参加させて頂き、ありがとうございました。



手芸介護班を見学して下さっている委員の皆様です

地域連携推進会議

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定により、障害者支援施設及び共同生活援助事業所において、地域との連携等に資するため、地域連携推進会議の開催及び地域連携推進会議の構成員が当該事業所を見学する機会を設けることが必須となりました。これを受けて、令和7年4月からの義務化を前に、第1回地域連携推進会議を2月20日に開催しました。

お楽しみおやつの様子



3月5日のお楽しみおやつのケーキの日。それぞれ個別対応で笑顔で、おいしく召し上がってくれました。

グループホーム野の花

「グループホーム野の花」の暮らし

生活支援員 野口 光子

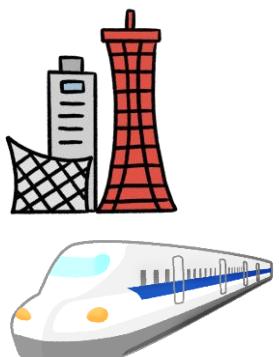
東庄町笹川にあるグループホーム野の花は、目の前が一面田んぼで季節により色彩が変わり、1年を通して折々の景色を楽しむことができ大自然を満喫できる場所に建っています。コロナ禍の窮屈な生活がかなり緩和された令和6年度、以前と同様の生活が戻ってきました。世の中の様子も変貌を遂げ、マスクをつけず公共機関を利用する等のコロナ前以上の増加とのニュー

コロナ禍では自宅に帰ることも控え、買い物も限定された時間内で近隣のスーパーに職員と出かけ、好きなものを選ぶというスタイルでした。当たり前にできていたことが出来ず我慢をしてきました。そのストレスは計り知れないものだと思います。

そこで、今年は2チームに分かれ旅行を計画しました。野の花始まって初の試みです。

1チーム目は時代劇「暴れん坊将軍」が大好きで「一度姫路城に行つてみたい!!」との強い要望があり兵庫県へ行くことに決まりました。7月暑さに負けず高速バス、新幹線を乗り継ぎ2泊3日の旅です。事前に旅行雑誌を購入し行きたい場所や名物の食べ物、お土産等を調べたり、衣類も新調し準備万端です。ワクワク、ド

キドキの興奮した気持ちで当日を迎え出発。都会の人込みを通り抜け、新幹線に乗車。



姫路の街並みを歩く距離も長く大変でしたが、景色を楽しみながら気持ちが足を動かしました。真っ白な姫路城はとても綺麗で大きさと迫力に大満足でした。神戸に移動し市内観光、神戸牛のステーキに舌鼓。沢山のお土産を買い、長旅でしたが心地よい疲労感を堪能しました。



神戸ポートタワー付近にて
遊覧船の前で

2チーム目は、戦隊ヒーローが大好きなメンバー。東京方面になりました。9月の東京は残暑厳しい中でしたが、暑さ以上に楽しみの方が勝っていました。東京ドームシティホテルに宿泊、1泊2日の旅行です。

東京ドームでは野球博物館があり展示されている様々なものに目を奪われ時間を忘れて見学。お土産に折れたバットを加工した箸「かつとばし」を購入し、毎日食事で使っています。



偶然アイドルのイベントがあり会場の雰囲気や迫力を肌で感じ、大都会での食事は高層ビルでのビュッフェランチでした。

お店の配慮で景色の良い席を用意していただきましたが、高い所に慣れていない利用者さんは刺激が強すぎたようです。しかし非日常の極上の時間を満喫することができました。



東京ドームホテルに宿泊



ホームでお好み焼きパーティー



野の花の日常生活は、電車を利用し鏡子まで1時間かけて出勤する方、笹川なずな工房に通所する方がいます。週末のみは居室で過ごしたり、ドライブ、近隣スーパーへ買い物とのイベントや誕生会、リクエストに答えた昼食作りを行いさまざまに過ごしています。季節

やかながらお楽しみを作った暮らしを心がけています。

4月の桜の花見＆イチゴ屋さんのスペシャルスイーツに始まり、裏山でのタケノコ堀り、芝桜見学、あやめ見学、ザリガニ釣り、8月は夏季休業でもあり休み期間中は、なずな工房の職員が日替わりで特別メニューの昼食を作りました。その他では、かき氷作り、白玉団子作り、じゃが芋堀り、コスモス畠見学、ハクチョウ餌やりやクリスマス会等々、皆さんの興味がありそうな内容を考えてきました。時にはホットプレートで一緒に調理したり皿を並べたり参加することで、より一体感を感じる楽しい時間になつたように感じます。



令和7年 初日の出

正月休みでは“元旦”に、いつもより早起きして皆さん揃つて初日の出を拝むことが出来ました。1年の始まり、気持ちを新たに新年を迎えていました。恒例となつた豪華弁当、羽生施設長“特製お好み焼き”と利用者さんのお楽しみが続きました。

今年度も大変お世話になりました。令和7年度も何卒よろしくお願ひ致します。

担当(〇)

編集後記

文字通り三寒四温を繰り返しつつ、春を感じる時期となりました。この冬は、日本海側を中心とした

大雪被害が相次ぎ、家屋をも倒壊させる雪の恐ろしさを改めて感じました。これも地球温暖化の影響で、今後も各地で発生しかねないと知り、読者の皆様の安全を願わざにはいられません。

※詳細は後日お知らせいたします。

令和7年6月11日(水)
第31回定期総会を
葉田台公民館にて開催
します。

ささひとかい
後援会だより